

# ルシヤ川河床路の状況について

林野庁北海道森林管理局  
網走南部森林管理署

# 2018(H30)年度第2回河川AP会議以降の経過報告

H31年1月31日

○2018(H30)年度第2回河川AP会議

- ・河床路の完成状況及び施工状況の説明 ・モニタリングの説明(自然増水により経過観察を実施)
- ・積雪の関係で、未施工となった分流堰の石組の取扱いについて検討する。
- ・融雪出水の流れ方を検証し、必要に応じ実証試験の修正を行いながらモニタリングを実施する。

H31年4月25日

○ルシャ川河川測量等業務の契約締結

R元年5月10日

○融雪増水状況等の現地確認(撮影等の実施)

R元年5月中旬

○河床路のメンテナンスとして、路体の石組は維持した状態で、路盤材の敷均しを実施する。  
(融雪後、路盤が流出して凹凸しており車両の通行に支障あり)

R元年6月4日～7日

○河川及び河床路の構造物測量等の実施  
○自動撮影カメラ設置位置の選定  
○水位計の設置  
※6/4に妹尾オブザーバーが現地視察

## 融雪後の河床路の状況について(R元年5月10日時点)



- ・融雪時の増水が、河床路を通過した痕跡は確認できなかった。
- ・冬期の波浪によって、運ばれた流木が河床路上流に堆積した。  
(河床路を下流から上流に逆流した流れが発生したと考えられる。)
- ・河床路延長33mのうち、12.7mが滞水区間となった。(滞水最深部は22cm)
- ・河床路の巨石組に変形・崩れは生じていなかった。

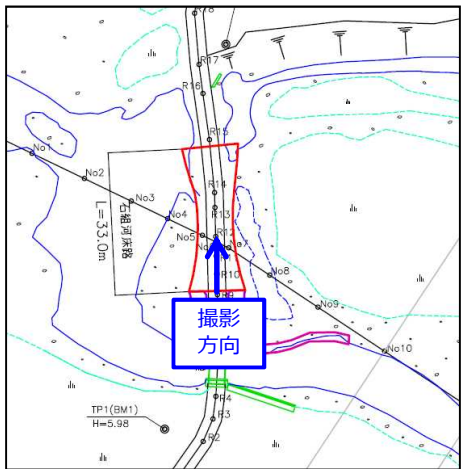
# 融雪後の河床路状況について(起点側より撮影)



融雪後



完成直後



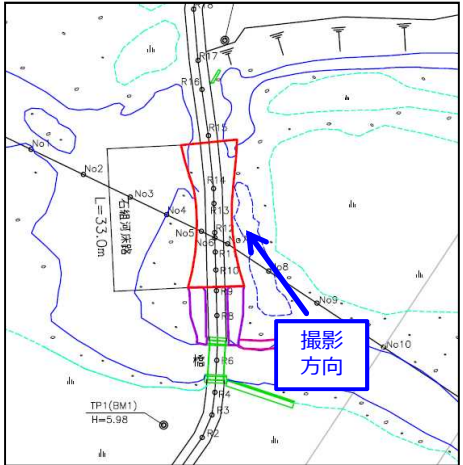
# 融雪後の河床路状況について(左岸側より撮影)



融雪後



完成直後



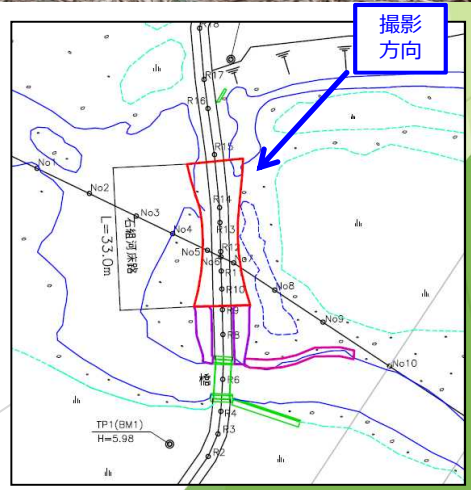
# 融雪後の河床路状況について(右岸側より撮影)



融雪後

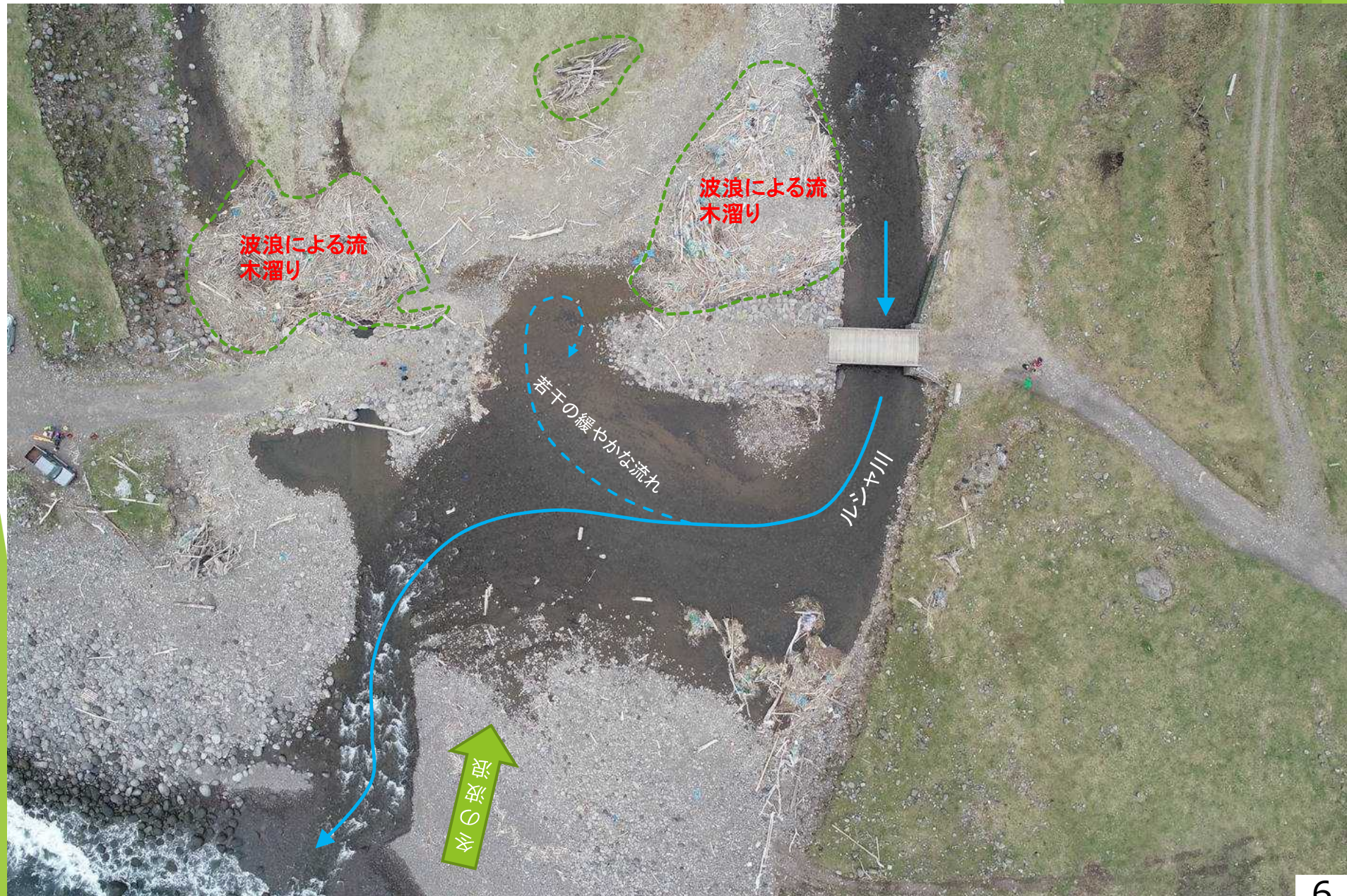


完成直後



撮影方向

上空から撮影(R元年5月10日時点)



# 路盤状況について(R元年5月10日時点)

右岸から左岸(橋側)を望む



左岸から右岸(番屋側)を望む



石の凹凸が大きい部分(間詰め土砂が流出)  
凹凸落差は20cm程度(最大25cm)



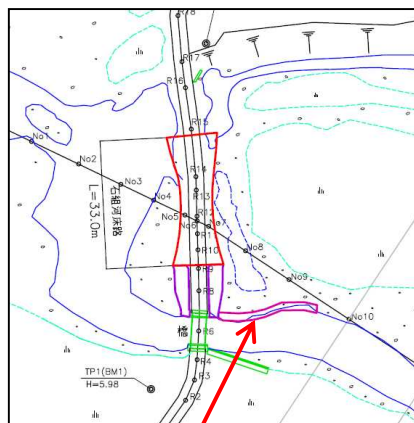
滞水区間の状況 石の凹凸落差は10cm程度  
最大水深部は22cm



## 石組を見合わせた分流堰(L=25.1m)の取扱いについて

・昨年度河床路工事途中で積雪期に入ったため、分流堰の石組の施工を見合わせたところ代替措置として応急的に巨石を配置。

前回会議で「融雪後に現地状況を確認し分流堰の石組を施工するか判断する」としていたが、融雪増水が河床路を通水しなかったことや、現在においても当該箇所については、特に損傷等していないことから、当面このままの状態での自然増水時のモニタリングを継続したい。



分流堰計画箇所  
(L=25.1m)



完成直後



現在も損傷等無し

R元年6月7日時点

## 2019(R元)年度の今後の予定について

### (工事関係)

- ・河床路のメンテナンス作業を必要に応じて実施する。

### (モニタリング関係)

- ・前回会議で説明した事項（・増水時の映像等の記録・河床路本体構造及び路盤等の確認・増水の程度における河床路に対する水量の変化・河床路上下流の地形及び滲筋の変化、車両通行に対する耐久性）の他に、「冬期間中の荒波の影響の確認」を自動撮影カメラにより撮影し、状況を確認することとしたい。



増水時の河床路への流れ  
(想定)

